

令和7年5月16日(金)

全校ホタルかごづくり！

30日(水)にホタルかご作りを行いました。ホタルかごとは、昔ホタルを捕獲したり、観賞したりするために使われていたものです。

昨年度に延スタの成崎さんにストローを使ってのホタルかご作りをしましたが、今回は北川やっちみろ会の竹林国興さんにホタル保護の意味とホタルかご作成についての説明を受け、藁で挑戦しました。しかし、ストローと違い、折れてしまったり、時間も短かい中での作業で、生徒の皆さんは苦勞していたようです。

今月の24日(土)のホタル祭りボランティアの中で、紹介できるといいですね。

今年はホタルの舞いも遅いようで、まだあまり見られないようですが、生徒の皆さんには、町内のホタルの分布状況を知るために家の周辺での写真撮影をお願いしています。暗い中での撮影です

ので、安全面に気をつけながら、無理をせず、撮影してもらえればと思っています。



キャリア教育講話！

12日(月)に延岡市キャリア教育センター長の水永正憲さんにおこしいたき、「君たちはどう生きるか～君たちの未来は可能性に満ちている～」という演題で、これからの社会に必要とされる人材について、そして今何をしなければならぬのかについて、ご講話してもらいました。

その中で、「自分にとっての幸せとは何かを考えて、考えて、考え抜いてほしい。そして、どんな仕事に就くかも大事だが、どう生きるのかを考えてほしい。最後にそのために今は失敗を恐れず何事にも**チャレンジ**することだ。失敗を乗り越えていくことで、人は大きく成長する。だから、今を大切に頑張ってほしい。」とまとめられました。奇しくも、講話の中で、引用された世界一貧しい大統領のホセ・ムヒカさんが13日に亡くなりました。存命中に「日本人は、勤勉で、とても優しい国民だ。でも、果たして幸せなのか。」と問われていました。もう一度、幸せとは、ウェルビーイングとは、を自分自身で、家族で、地域で考える良いタイミングなのかもしれません。

地域の人の声を聴く会！

15日(木)に地域で活躍している3人の方においでいただきそれぞれの立場からお話をいただきました。ほたるの館を管理する延スタの成崎聡さんには、北川の地域資源と情報発信について、#北川コフレの妹尾麻樹さんには、地域連携と活性化についてチョウザメ飼育の柴田竜さんには、北川の魅力と課題についてでした。講話を通して、まだまだ北川にはたくさんの地域資源があることに気づかされました。コフレとはフランス語で「宝箱」という意味があるそうです。その北川の宝箱を未来につなぐためにイベントや地域資源の活用など**チャレンジ**をしていること、何よりも北川のことが好きでそれを活かしたいという想いが伝わってきました。我々も、もっと地域のことを知り、情報発信や地域貢献に力を入れたいと強く感じました。北川の「宝」を未来につなぐために！



